



## Water Health Care

# TRIM REPORT

## 第30期 事業報告書

〈2011年4月1日～2012年3月31日〉

株式会社日本トリム

証券コード：6788

## 森澤紳勝よりトップメッセージ

Top Message

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社は、2012年6月12日をもって、創業30周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様のご理解とご支援の賜物と衷心より感謝申し上げます。

当社では、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして捉えております。安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、配当政策といたしましては、安定的な配当を継続して行うことを基本としながら、業績に応じて水準を高めてまいります。また、昨今問題となっておりますコーポレートガバナンスにつきましても、強化・充実を図り、株主価値最大化に向け、より一層邁進してまいります所存でございます。

### ✦トリムの未来像：高機能水による社会貢献

水の安全性が強く意識される今、水は量とともに「質」が求められる時代となりました。当社は、世界に先駆けて水に「機能」があることに着目し研究を重ねてまいりました。水の研究では世界のトップランナーであると自負しております。当社の水は、安全でおいしいだけの水とは一線を画した「高機能水」です。

今後、飲用にとどまらず人工透析をはじめとした医療分野や農業分野、工業分野での様々な応用を実現し、日本発の技術でグローバルに社会貢献する企業グループを目指してまいります。

### ✦セカンドステージ：整水器は家電の時代へ

当社は、「ウォーターヘルスケアという新習慣」を提唱しております。その普及のためには、「整水器=家電」でなければならないと考えております。現在の日本の世帯総数は約5,200万世帯です。そのうち、当社の整水器の販売総数は、創業以来累計約105万台になります。当社が目指すのは「一世帯一台の整水器の普及」です。「水=日本トリム」と言っていただけるようなご支持やご信頼を得られるよう、機能性とデザイン性を兼ね備えた整水器の更なる開発を推進し、キッチンを変え、暮らしを変え、世界に貢献してまいります。

### ✦トリムの姿勢：今期、積極的な先行投資

2013年3月期は、110億円の売上・20億円の経常利益を見込んでおります。3～5年後の事業拡大を目指し、PR・Web対策・研究開発・製品開発・海外展開・M&A等に対し、積極的な先行投資を行います。

## ✦トリムのビジョン：10年後売上1,000億円

### 飲料分野

電解還元水飲用による生活習慣病対策に関する研究に取り組み、予防医療・医療費削減への貢献を目指します。営業面では、PR・Web対策に注力し、ブランド構築とともに新たな販売チャネルの創出を図ります。また、売上とサービスの向上を目的に、販売拠点の拡大と人員の増強を積極的に行ってまいります。

### 医療分野（電解水透析）

電解水透析は、患者の方々のQOL（生活の質）の改善に貢献する、社会的意義の大きい事業であるとともに、事業としての将来性や家庭用整水器事業への波及効果が非常に大きいため、今後も積極的に普及・啓蒙活動を推進してまいります。

### 農業分野

生産効率の向上・栄養価の高い機能性作物の生産への寄与・植物工場棟での活用等による、食糧問題・食の安全性の問題への貢献を目指します。2013年3月期中に農業用整水器の販売を計画しております。

### 工業分野

金型部品・半導体などの洗浄への電解水の応用による事業拡大・環境問題改善を目指します。

### グローバル事業

アジア地域での事業展開に注力しつつ、近年中の欧米への進出に向けても取り組んでまいります。

### M&Aによる新規事業

売上・コスト両面でのシナジー効果を望める新規分野でのM&Aも視野に、事業の拡大を目指します。

## ✦機能水ビジネスを世界へ

機能水は日本発の技術であり、様々な分野において、グローバルな新規市場創出の可能性がります。機能水ビジネスのリーディングカンパニーとして、産学と官の連携による研究開発・事業化・海外進出を促進する体制構築に向け、精力的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 事業分野

Business Fields



### I. 飲用分野

おいしくて体にいい水を提供

- 家庭用浄水器の製造販売事業
- 浄水カートリッジの販売事業



### II. 医療分野

先進的な腎不全対策を探究

- 電解水飲用の基礎研究・電解水透析の普及



### III. 農業分野

将来の新たな事業分野の開拓

- 農業用「還元野菜」浄水器

### IV. 工業分野

将来の新たな事業分野の開拓

- 金型・部品・半導体の洗浄等

### V. グローバル事業

アジアから世界へ

- 中国・台湾・インドネシア・アメリカ
- シンガポール・韓国(進出予定)

## 飲用分野

### 新商品「TRIM ION GRACIA」販売開始

グローエジャパン株式会社とのコラボレーションにより開発したハイクラスの新商品です。高いデザイン性と機能美に加え、世界初のハンドシャワー付整水湯水一体型水栓を実現しました。住宅メーカーと共同して販売し、顧客層の更なる開拓を図ります。



### アフターサポートの強化

本年2月、浄水器の取り付け及びアフターサービス体制を強化するため、「株式会社トリムライフサポート」を設立いたしました。顧客サービス・顧客満足度の向上に取り組むとともに、カートリッジ交換率・浄水器リポート率の向上を目指します。

## 医療分野

### カロリンスカ研究所と血液透析の共同研究開始

ヨーロッパ最大級の医学大学であるカロリンスカ研究所と、電解還元水の基礎研究分野に続き、本年2月より血液透析(電解水透析)の分野でも臨床研究を開始しました。電解水透析は次世代の新規治療法として大きく期待されており、当研究が浄水器の普及を強く後押しするものと考えております。



## 新製品電解水透析用システム販売開始

本年6月22日~24日、札幌で開催された第57回日本透析医学会において、新しい電解水透析用システムを展示、販売を開始いたしました。

### 第5回電解水透析研究会開催

本年2月4日に、第5回電解水透析研究会が開催されました。台湾大学鄭教授をはじめとした80名以上の医師・技士・関連企業の方々に参加し、白熱した議論が行われました。電解水透析に対する注目度が高まってきております。



## 農業分野

### 農業分野での順調な研究の進捗

高知県JA南国市との共同研究におきまして、収穫量や品質向上のパイロットデータを取得しております。また、京都府公立大学法人(京都府立大学、京都府立医科大学)とは、植物工場環境下での研究を、高知大学とは水耕栽培の研究をスタートしております。当分野の事業としての将来性は非常に大きなものと考えております。



# トリムハイライト(業績)

## グローバル事業

### 台湾に関連会社を新設

本年4月、台湾において、現地大手医療用品販売会社「杏一医療用品股份有限公司」と合弁会社「多寧生技股份有限公司」を設立いたしました。

医薬品店約170店舗を展開する杏一社の販路を活用し、台湾での整水器販売・医療分野での事業拡大を図ります。



### インドネシア、初の通期黒字化を達成

インドネシア関連会社「PT SUPER WAHANA TEHNO」では、2006年の出資開始以来、初の通期黒字化を達成しました。

2億4千万人の人口、急速な経済成長を背景に、ボトリング事業の更なる大きな成長を見込んでおります。

2012年度は、生産体制の強化を目的に、ラインの拡充を実施予定です。また、シンガポールをはじめとしたアジアへの輸出にも注力し、業容拡大に取り組んでまいります。



## その他

### 「東洋経済」ランキングにランクイン

雑誌『週刊東洋経済』平成23年12月17日号の「経営トップの通信簿ランキング240社」という特集において、当社社長が140位にランクインしました。

また、東洋経済オンラインの「新・企業力ランキングトップ2000社」では、当社が3,396社中253位にランクインしました。

## 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	当期 (2012年3月31日)	前期 (2011年3月31日)
流動資産	9,544	8,484
現金及び預金	5,952	4,981
固定資産	4,683	5,015
流動負債・固定負債	2,852	2,948
株主資本	11,121	10,335
その他の包括利益累計額	241	205
少数株主持分	0	1
純資産合計	11,375	10,551
総資産	14,228	13,499

## 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当期 (2011年4月1日から2012年3月31日まで)	前期 (2010年4月1日から2011年3月31日まで)
売上高	9,616	8,888
営業利益	1,962	1,607
経常利益	2,012	1,560
特別利益	54	2
特別損失	4	1
税金等調整前当期純利益	2,062	1,561
法人税、住民税及び事業税	886	755
法人税等調整額	69	△29
少数株主損失	△0	△2
当期純利益	1,107	838

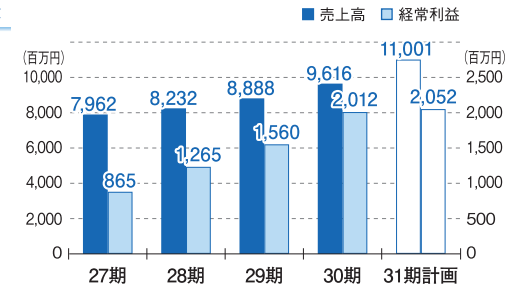
## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

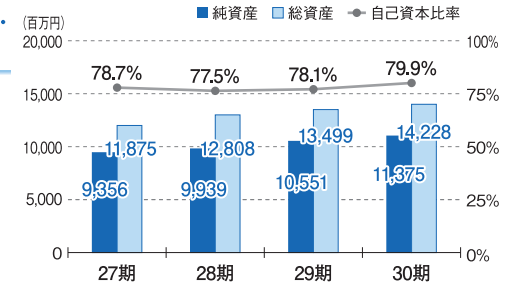
科目	当期 (2011年4月1日から2012年3月31日まで)	前期 (2010年4月1日から2011年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,384	1,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	241	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△560	△365
現金及び現金同等物の期末残高	5,952	4,881

## 財務ハイライト

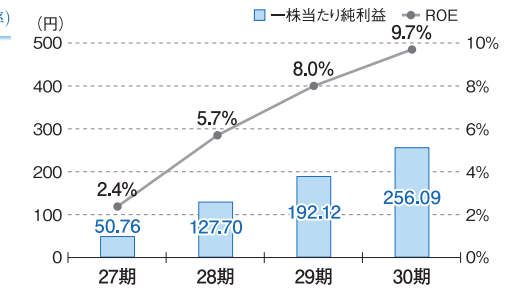
### 売上高・経常利益



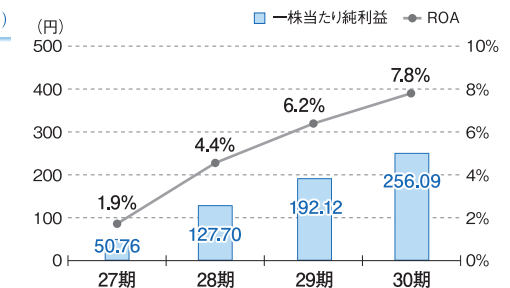
### 純資産・総資産・自己資本比率



### ROE(株主資本利益率)



### ROA(総資産利益率)





## 会社の概要

(2012年3月31日現在)

商号 株式会社 日本トリム  
NIHON TRIM Co.,Ltd.  
本社 大阪市北区大淀中一丁目8番34号  
設立 1982年(昭和57年)6月12日  
資本金 992,597千円  
従業員 359名(関係会社含む)  
主な事業内容 電解還元水整水器及び  
カートリッジ等の製造販売



## 役員

(2012年6月26日現在)

代表取締役社長 森澤 紳勝 常勤監査役 古閑 信夫  
専務取締役 尾田 虎二郎 監査役 酒井 利直  
常務取締役 西谷 由実 監査役 井上 正義

## 国内

### 株式会社 日本トリム

本社: 大阪  
支社: 仙台・東京・名古屋・広島・福岡  
営業所: 札幌・青森・大宮・千葉・横浜・新潟・長野・  
静岡・金沢・京都・姫路・岡山・山陰・松山・  
高知・長崎・熊本・鹿児島・沖縄  
東京オフィス

株式会社トリムエレクトリックマシナリー (ISO13485:2003、ISO9001:2008認証取得)  
● 高知県南国市 / 電解還元水整水器及びカートリッジ等の製造販売

株式会社トリムフィナンシャルサービス ● 大阪市北区 / 割賦販売業務

株式会社トリム・オブティマル・ヘルス ● 東京都千代田区 / 健康関連商品販売

株式会社トリムジン ホールディングス ● 東京都千代田区 / 持株会社

株式会社トリム メディカル インスティテュート  
● 大阪市北区 / 糖分解代謝物の受託測定、電解透析水整水器の販売

株式会社 機能水細胞分析センター ● 福岡市博多区 / 機能水科学分析

株式会社トリムライフサポート ● 大阪市北区 / 取付及びアフターサポート

## 海外

TRIMGEN CORPORATION (ISO9001:2008 認証取得)  
● 米国メリーランド州ボルチモア / 遺伝子診断キットの開発・製造販売

PT SUPER WAHANA TEHNO (ISO22000:2005 認証取得)  
● インドネシア・ジャカルタ / ボトルドウォーター製造販売

広州多寧健康科技有限公司  
● 中国広東省広州市 / 電解還元水整水器及び飲料水、健康関連商品の製造販売

多寧生技股份有限公司 ● 台湾・桃園県 / 電解還元水整水器販売

## 株式の状況

(2012年3月31日現在)

発行可能株式総数 8,000,000株

発行済株式の総数 4,296,551株  
(自己株式 331,839株を除く)

株主数 3,645名

### 大株主

株主名	持株数
森澤紳勝	1,875,290株
野村信託銀行株式会社(投信口)	161,450
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	123,550
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	114,500
アールビーシーデクシアインベスターサービスバンク	71,000
ザチエスマンハッタンバンクエヌエイロンドン	69,500
ドイツ証券株式会社	65,899
日本トリム従業員持株会	61,650
株式会社三井住友銀行	60,000
住友生命保険相互会社	50,000

## 〈株主メモ〉

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 50株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告とし、当社ホームページ(<http://www.nihon-trim.co.jp>)  
に掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による  
公告をすることができない場合の公告方法は日本経済新聞に  
掲載する方法といたします。

# お知らせ

## 配当金のご案内

第30期の業績が好調に推移し、通期業績の達成状況や市場環境等を総合的に勘案した結果、第30期期末配当金は、普通株式1株当たり前期より10円増配し、60円の配当を実施いたします。当社は「安定的な配当を継続して行くことを基本としながら、当面は連結配当性向30%を目処に、配当水準を業績に応じて段階的に高めていくこと」を基本方針といたしております。

## 株主優待制度のご案内

### 対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された50株(1単元)以上の当社株式を保有する株主様

### 株主優待制度の内容

当社が販売する整水器1台若しくは浄水カートリッジ1本の標準価格の25%割引を行う株主優待券を1枚進呈いたします。



- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について  
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。